

地域振興プラン策定の方向

いわて県民計画における
県北広域振興圏の目指す姿

多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、
北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域

「人口減少」

県北地域の重要課題

「所得格差」

全県の水準を超える速度で進む人口減少

格差は縮小しているが、県平均を下回る平均所得

	H23	H23→H28	H28	H28→R3	R3
県北	121	-6.8%	113	-8.9%	103
全県	1,313	-3.4%	1,268	-5.7%	1,196

(出典：いわて統計白書)

(単位：千人)

	H21	H26	R1
県北	1,987	2,445	2,629
全県平均	2,254	2,709	2,782
対全県平均比較	88.2%	90.3%	94.5%

(出典：いわての統計情報)

(単位：千円)

「県北地域の多様・豊富な地域資源」を生かした振興

1 若者・女性が活躍する地域づくり

- (1) 働きやすく、安心して子供を産み育てられる環境づくりへの支援（自然減対策）
- (2) 地元定着・Uターンの推進（社会減対策）
- (3) 新たな担い手の呼び込み（移住定住）の推進（社会減対策）

2 所得向上を目指した産業振興

- (1) 特色ある産業の生産性向上
- (2) 地域産品等の高付加価値化
- (3) 産業を支える担い手の確保・育成

3 北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり

- (1) 再エネを生かした地域づくり
- (2) 地域資源を生かした観光・交流連携
- (3) 多様な地域資源の伝承

人口減少対策、GX・DX推進、安心・安全な地域づくりの推進

北いわて産業・社会革新 ZP、三陸防災復興 ZP、活力ある小集落实現プロジェクト など

地域振興プラン(第2期)の概要(県北広域振興局)

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p>I 隣接する圏域等とのつながりを生かし、一人ひとりが健康で心豊かに暮らせる地域</p> <p>県央圏域や八戸圏域などとの交流・連携による地域活性化や、地域に根ざした文化芸術やスポーツの振興を図るとともに、東日本大震災津波の被災者のこころのケアと健康づくりの支援や、保健・医療・介護・福祉の連携により、子どもから高齢者まで、病気や障がいなどの有無に関わらず、安心して健やかに暮らせる環境づくりを進めます。</p> <p>【指標項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 活動中の元気なコミュニティ特選団体数 ② 公立文化施設における催事数 ③ スポーツ実施率 ④ 自殺者数[10万人当たり] ⑤ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担の認知度 ⑥ がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数[10万人当たり] ⑦ 居宅介護(地域密着型)サービス利用割合 ⑧ 障がい者グループホームの利用者数 ⑨ 「いわて子育てにやさしい企業等認証」の認証件数 	<p>1 多様な交流・連携により地域コミュニティを活性化します</p>	<p><方向性>市町村等と連携したU・Iターンの促進や地域おこし協力隊への支援など人口減少対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 隣接する圏域等との広域的な交流・連携【重点事項1：人口減少対策】 ② 移住・定住の促進【変更】【重点事項1：人口減少対策】 ③ 地域づくり活動の促進【新規】【重点事項1：人口減少対策】
	<p>2 文化芸術・スポーツの持つ力を地域活性化へとつなげていきます</p>	<p><方向性>御所野遺跡の価値や重要性の理解促進と県内外に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 文化芸術情報の発信や文化芸術に直接触れる機会の充実【重点事項1：人口減少対策】 ② 世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群(御所野遺跡)」の価値の理解促進【変更】 ③ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実【変更】【重点事項1：人口減少対策】 ④ 八戸圏域との文化・スポーツに関する交流・連携の促進
	<p>3 地域における医療体制を整え、心身の健康づくりと地域で支え合う福祉の環境をつくります</p>	<p>(1) 保健・医療分野</p> <p><方向性>市町村や関係機関・団体等と一体となった生活習慣病・自殺予防対策、病床の整備などの新興感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 被災住民への健康支援と医療体制の構築 ② 医療連携及び保健・医療・介護・福祉連携の推進【重点事項1：人口減少対策】 ③ 自殺対策の推進 ④ 脳卒中をはじめとする生活習慣病予防の推進 ⑤ 健康危機管理対策の推進【重点事項4：安全・安心】
	<p>(2) 介護・福祉分野</p>	<p><方向性>市町村等と連携した結婚・子育て支援、地域で支える高齢者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 結婚支援・子育て家庭への支援【重点事項1：人口減少対策】 ② 高齢者を地域で支える地域包括ケアシステムの推進【変更】 ③ 障がい者の自立生活支援 ④ 生活困窮者の自立支援 ⑤ みんなが住みやすいまちづくりの推進【重点事項4：安全・安心】

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p>Ⅱ 自然豊かで再生可能エネルギーを生かした災害に強い地域</p> <p>東日本大震災津波により被災した施設の復旧・整備を推進し、地震津波などへの対策を強化するとともに、物流の効率化や圏域内外への交流拡大、生産性の向上を支える社会基盤の整備を進めます。</p> <p>また、良好な自然環境を保全し、豊かな自然と共生しながら、太陽光、風力、バイオマスなどの豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくりに取り組みます。</p> <p>【指標項目】</p> <p>① 近年の洪水災害に対応した河川改修の完了河川数【新規】</p> <p>② 圏域内外の交流を支える道路の整備延長【新規】</p> <p>③ 早急に修繕が必要な橋梁の対策完了数【新規】</p> <p>④ 公共用水域のBOD（生物化学的酸素要求量）等環境基準達成率</p> <p>⑤ 住民一人1日当たりの家庭系ごみ（資源になるものを除く）排出量</p> <p>⑥ 再生可能エネルギーによる発電量</p>	<p>4 災害に強い社会基盤を整えます</p>	<p>＜方向性＞市町村や関係機関と一体となった自助・共助・公助による防災体制づくりの強化</p> <p>① 洪水・土砂災害対策の推進【変更】【重点事項4：安全・安心】</p> <p>② 緊急輸送道路、海岸保全施設の防災機能強化の推進【変更】【重点事項4：安全・安心】</p> <p>③ 被災した公共土木施設の復旧【新規】</p> <p>④ 減災のためのソフト施策の推進【新規】【重点事項4：安全・安心】</p>
	<p>5 新しい交通ネットワークを中心に、地域経済や暮らしを支える社会基盤を整えます</p>	<p>＜方向性＞地域経済や暮らしを支えている社会基盤の整備の推進</p> <p>① 産業振興や交流を支える道路整備【変更】</p> <p>② 日常生活を支える安全な道づくりの推進【変更】【重点事項4：安全・安心】</p> <p>③ 快適で魅力あるまちづくりの推進【変更】【重点事項1：人口減対策】</p> <p>④ 社会資本の適切な維持管理の推進【新規】【重点事項4：安全・安心】</p> <p>⑤ 地域公共交通の維持・確保</p>
	<p>6 環境を守り育てる人材を育成し、多様な主体との協働を進めながら、良好な自然環境を守ります</p>	<p>＜方向性＞環境学習の推進による環境を守り育てる人材の育成</p> <p>① 環境を守り育てる人材の育成と協働の推進【重点事項2：GX】</p> <p>② 良好な水環境の確保【重点事項2：GX】</p> <p>③ 廃棄物の適正処理の推進【重点事項2：GX】</p> <p>④ 地球温暖化対策の推進【重点事項2：GX】</p> <p>⑤ 人と動物が共生する社会の実現</p>
	<p>7 豊富な再生可能エネルギー資源を生かした持続可能な地域づくりに取り組みます</p>	<p>＜方向性＞再生可能エネルギー資源を生かした地域づくりの推進</p> <p>① 太陽光、風力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入及び利活用の促進【変更】【重点事項2：GX】</p> <p>② 洋上風力発電の実現に向けた支援【変更】【重点事項2：GX】</p> <p>③ 再生可能エネルギーを生かした地域づくり【重点事項2：GX】</p>

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p>Ⅲ 誇れる北いわての地域資源を生かした産業が展開し、意欲を持って働ける地域</p> <p>地域の中核となる経営体の育成や担い手の確保・育成、農林水産物の生産性向上やブランド化などによる高付加価値化と販路拡大の取組を進めるとともに、地域の特性を生かした体験・交流型観光や食産業振興の取組を進めます。</p> <p>また、産学官が連携した企業支援を展開し、アパレルなど特徴的な産業の認知度向上やものづくりを担う人材の育成を進めるとともに、県や市町村などの関係機関が一体となってキャリア教育に取り組み、若者の地元就職を促進します。</p> <p>【指標項目】</p> <p>① 農畜産物の販売額</p> <p>② 木材生産額</p> <p>③ 主要特用林産物生産額</p> <p>④ 漁業生産額</p> <p>⑤ 食料品製造業の製造品出荷額等</p> <p>⑥ 製造品出荷額等（食料品製造業及び繊維工業を除く）</p> <p>⑦ 繊維工業の製造品出荷額</p> <p>⑧ 観光入込客数</p> <p>⑨ 県北圏域高卒者の管内就職率</p>	<p>8 北いわての農畜産物のブランドを確立し、多様なスタイルでいきいきと暮らせる農村をつくります</p>	<p>＜方向性＞人材の確保・育成、特色ある農畜産物の産地育成、市町村や関係団体等と連携した支援の実施</p> <p>① 地域農業を担う経営感覚に優れた経営体の確保・育成【変更】【重点事項1：人口減対策】</p> <p>② 高度な生産技術の導入等による特色ある農畜産物の産地育成【変更】【重点事項3：DX】</p> <p>③ 農村資源の活用による地域活動の促進【変更】</p>
	<p>9 地域材や特用林産物の生産体制の強化と需要拡大に取り組みます</p>	<p>＜方向性＞人材の確保・育成、地域材の安定供給や特用林産物の生産・流通支援</p> <p>① 意欲と能力のある林業経営体の育成や林業技術者の確保・育成【変更】【重点事項3：DX】</p> <p>② 森林整備による適切な資源の管理とともに、地域材の安定供給や利用拡大の取組を促進【重点事項4：安全・安心】</p> <p>③ 木炭、乾しいたけ、生漆の生産や流通の体制強化を推進</p>
	<p>10 担い手の確保・育成や漁業生産量の回復・向上を進めます</p>	<p>＜方向性＞人材の確保・育成、ギンザケ海面養殖やウニの蓄養などによる漁業生産量の回復・生産性向上</p> <p>① 漁業担い手の確保・育成【重点事項1：人口減対策】</p> <p>② 漁業生産量の回復・生産性向上【重点事項3：DX】</p> <p>③ 生産物の付加価値向上・販路拡大</p> <p>④ 漁港等の整備</p>
	<p>11 北いわての魅力ある食材を生かした食産業を盛んにします</p>	<p>＜方向性＞食産業事業者の経営課題に応じた支援の実施</p> <p>① 事業者の経営課題に応じた支援</p> <p>② 北いわて食材等の認知度向上・取引拡大【変更】【重点事項3：DX】</p> <p>③ 食産業を担う人材の確保・育成【変更】【重点事項1：人口減対策】</p> <p>④ 安全・安心を支える体制の整備【重点事項4：安全・安心】</p>
	<p>12 アパレル産業など高い技術力を有するものづくり産業を盛んにします</p>	<p>＜方向性＞アパレルなどものづくり事業者の経営課題に応じた支援の実施</p> <p>① 企業の経営課題に応じた支援</p> <p>② 地域の特徴的な産業の振興【重点事項3：DX】</p> <p>③ ものづくりを担う人材の確保・育成【変更】【重点事項1：人口減対策】</p> <p>④ 地域の特性を生かした事業活動への支援や企業誘致の促進</p>

	<p>13 隣接圏域等と連携した広域観光を進めます</p>	<p><方向性>三陸沿岸道路を活用した広域観光や御所野縄文遺跡など特色ある地域資源を活用した観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 特色ある地域資源を活用した観光の推進 ② 受入態勢の強化及び観光を担う人材の育成【重点事項1：人口減対策】 ③ 広域連携の強化及び情報発信による誘客の促進
	<p>14 雇用環境の改善と若年者などの就業支援を進めます</p>	<p><方向性>地元定着に向けた地域ぐるみでのキャリア教育、関係機関と連携したU・Iターンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 働き方改革の促進等による雇用・労働環境の改善【重点事項1：人口減対策】 ② 関係機関との連携による若者の地元就職や職場定着の促進【重点事項1：人口減対策】

(参考)

県北圏域の主な統計データ

1 人口

人口は、平成23年から平成28年までに全県で3.4%減少、県北圏域で6.8%減少、平成28年から令和3年までに全県で5.7%減少、県北圏域で8.9%減少しており、県北圏域の減少率が全県を上回っている。令和3年の高齢化率は、県平均34.3%に対して、県北圏域39.5%と県平均を約5%上回っている。

【人口及び高齢化率の状況】 (単位：人)

	岩手県			県北		
	人口	対前年増減比	高齢化率	人口	対前年増減比	高齢化率
H22	1,330,147	△0.8%	27.2%	123,110	△0.9%	30.0%
H23	1,312,756	△1.3%	27.2%	121,243	△1.5%	30.2%
H24	1,303,351	△0.7%	27.9%	119,654	△1.3%	30.9%
H25	1,294,453	△0.7%	28.7%	118,055	△1.3%	31.9%
H26	1,284,384	△0.8%	29.6%	116,061	△1.7%	32.9%
H27	1,279,594	△0.4%	30.5%	115,007	△0.9%	33.8%
H28	1,268,083	△0.9%	31.1%	113,028	△1.7%	34.6%
H29	1,254,807	△1.0%	31.9%	110,855	△1.9%	35.6%
H30	1,240,522	△1.1%	32.5%	108,897	△1.8%	36.6%
R1	1,226,430	△1.1%	33.1%	106,663	△2.1%	37.4%
R2	1,212,201	△1.3%	33.7%	104,558	△2.0%	38.4%
R3	1,196,277	△1.2%	34.3%	102,963	△1.5%	39.5%

※いわて統計白書（岩手県人口移動報告年報）

2 人口減内訳

令和2件～令和3年の県北圏域の人口減2,400人の内訳をみると、管内から県内への転出463人、管内から県外への転出510人、計（社会減）973人、自然減等が1,427人となっている。

【広域振興圏別人口移動の状況】 (単位：人)

<令和2年～令和3年>

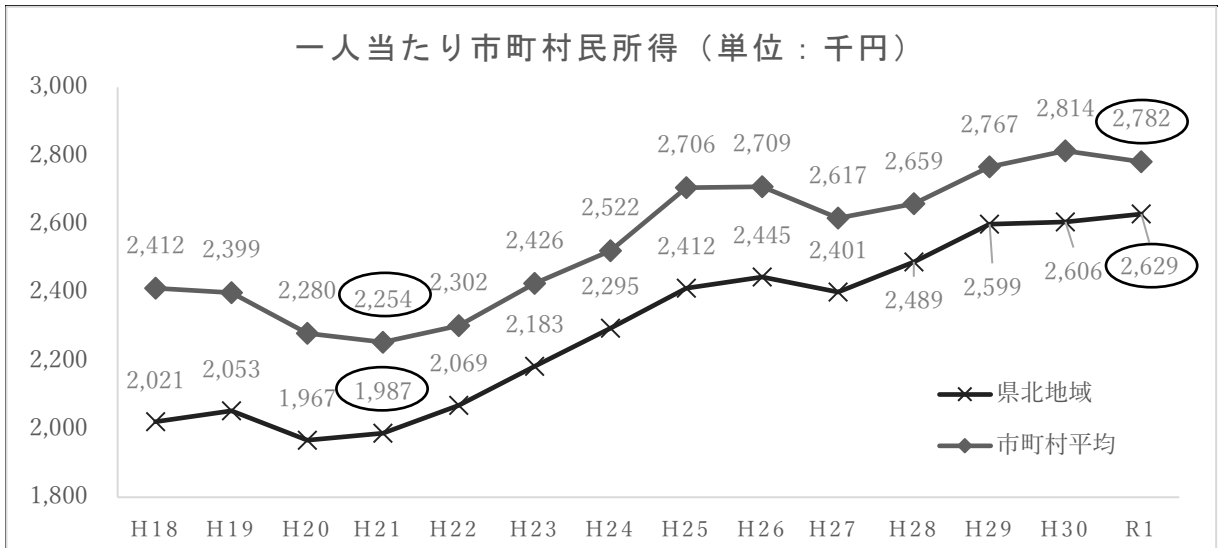
	県央	県南	沿岸	県北	計
①（県内移動）	1,111	280	△928	△463	—
②（県外移動）	△1,190	△354	△684	△510	△2,738
社会増減（①+②）	△79	△74	△1,612	△973	△2,738
自然増減等	△2,800	△4,749	△2,543	△1,427	△11,519
人口増減（社会+自然）	△2,879	△4,823	△4,155	△2,400	△14,257

※いわて統計白書（岩手県人口移動報告年報）

3 一人当たり市町村民所得

令和元年度の一人当たりの市町村民所得は、平成 21 年度 (R1 の 10 年前、震災前) と比較し、県平均で 528 千円増加し 2,782 千円、県北圏域で 642 千円増加し 2,629 千円となっており、全県との所得格差は縮小しているものの県平均を下回っている。

【一人当たり市町村民所得】(単位：千円、%)



※いわての統計情報 (市町村民経済計算)

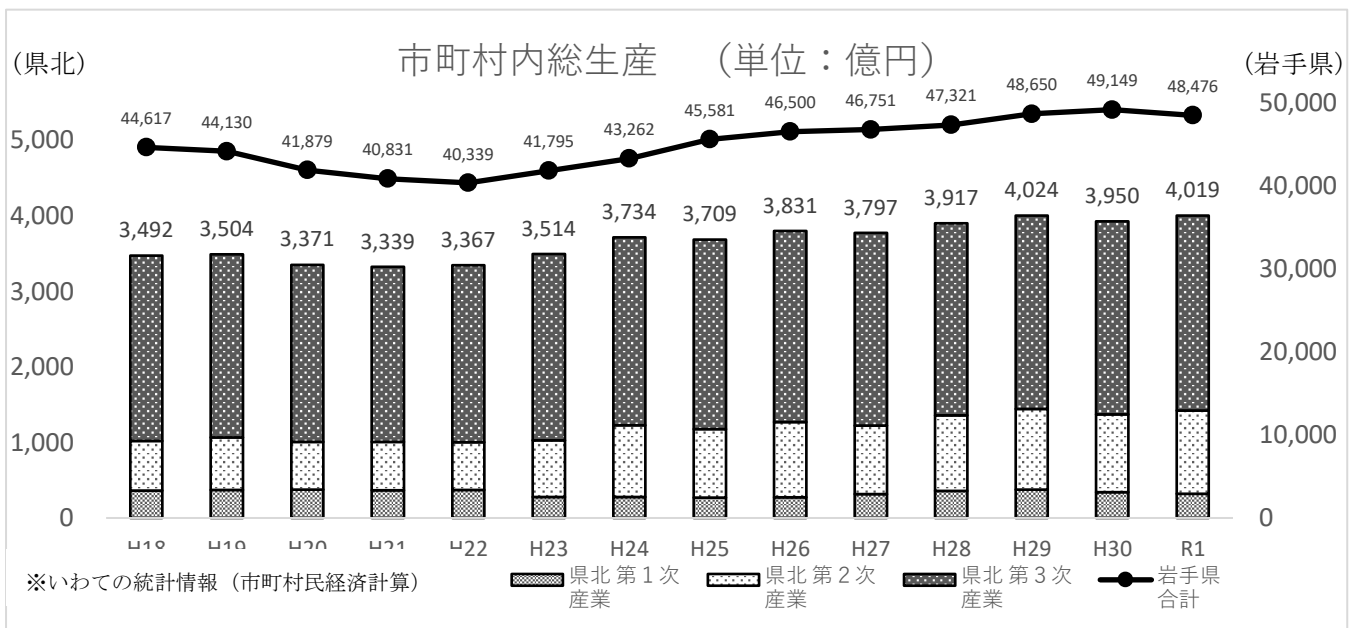
年度	県平均	県北
R1/H21	123.4	132.3

	H21	R1
県平均/県北	88.2	94.5

4 市町村内総生産

平成 21 年度と令和元年度の市町村内総生産を比較すると、全県 18.7% 増、県北圏域 20.4% 増となっており、県北圏域が全県をわずかに上回っている。

【市町村内総生産】(単位：億円、%)



※いわての統計情報 (市町村民経済計算)

年度	岩手県合計	県北			
		第1次産業	第2次産業	第3次産業	総生産
R1/H21	118.7	87.3	173.0	111.2	120.4